

リオ、そして東京へ2014

自衛隊体育学校

競歩20km日本選手権大会



昨年世界選手権代表の荒井2曹（右のゼッケン8の選手）は強豪たちとのぎを削った

競歩結果

2月16日、兵庫県神戸市で開催された第97回日本陸上選手権大会男子20km競歩兼第17回アジア競技大会（2014/仁川）男子20km選手権において荒井広田曹2等陸曹が出場した。荒井は昨年世界選手権以来の試合となり、専門の50kmではなかったが、1時間20分38秒の自己ベスト（この記録はオリンピックイヤーの2012年大会の優勝タイム）、第6位となった。このレースでは鈴木雄介選手（富士通）が1時間18分17秒の日本新記録を作るほどのスピードレースとなったが、同時に海外の審判員を招聘して歩形を国際基準の厳しさ通りチェックした。だが、荒井は果敢にスピードレースを挑みながら、一度も歩形の警告を受けることなく完歩。荒井にとっては本当の勝負となる4月20日石川県輪島市で行われる日本陸上選手権大会50km競歩大会に向け順調に仕上がっていることを確認できた。

柔道結果

2月15日イタリアで開催された柔道欧州オープンローマ大会女子48kg級において十田美里2等陸曹が3位、同じく女子70kg級に出場した上野巴恵3等海曹は5位に終わった。今大会は、グランドスラム・パリやグランプリ・デュッセルドルフとともに冬季欧州遠征の一環として、世界選手権代表選考に影響のある大会だっただけに、優勝を狙ったかった。

オリンピック教室

1月31日、東京都北区立稲付中学校において「JOCオリンピック教室」が開催され、ボクシング、ロンドンオリンピック代表の須佐勝明2等陸尉がオリンピック先生として、同中学校2年生（2個クラス）に対し、体育実技と座学による特別授業を行った。この授業はオリンピックに参加した。さらに、招致活動の現地評価ではアスリート・ホストを務めるオリンピックバリュウ（オリンピック）を将来を担う躍を行った。このためスポーツ界で子どもたちに伝えることを目的に行われたもの。須佐2尉は、日本最強の人物と実績を評価し、今回の授業のアマチュアボクサーと言われながら企画された。



中学生にオリンピックバリュウを講義する須佐2尉